

おまけ  
「本当は何があなたを  
病気にするのか？」

本当は何があなたを  
病気にするのか？

あなたが病気について  
知っていると思っていたこと  
すべてが間違いの理由



ドーン・レスター&  
デビッド・パーカー 著  
字幕大王 訳  
中村篤史 (ナカムラクリニック院長) 推薦



ヒカルランド

# 現代医学のほとんどすべてが間違い！

□というより、故意にやっているウソ

# この本を読むと。。。

- 頭に染み込んだこれまでの「常識」を保ち続けるのは、難しくなります。
- 医者・学者の言うことが、ほとんどすべてウソだとわかります。
- この壮大な詐欺が行われている理由がわかります。
- 彼らの言うことを聞いていれば、不健康になるばかりか、死ぬことになるとうわかります。
- 病気を避ける方法、健康を保つ方法が「ある程度」わかります。

# 結論から

- 病気の原因は四つだけ（下巻で紹介）
  - 栄養不良
  - 毒物
  - 電磁波
  - 長期にわたるストレス
- ウイルスなど存在しない。一切の証明はない
- バクテリア（結核菌など）は病気の原因ではない
- 医学界の言うことは矛盾だらけ

- そもそも「細菌が起こす病気」は存在しないので、「抗体」はウソ。あらゆる病気の「抗体検査」はデタラメばかり。
- したがって、「免役」はまるでウソで、存在しない。身体には、維持と修復システムのみがある。
- したがって、「抗生物質（バクテリアを殺す）で治る」のはウソ。治るように見えるのは、毒物である抗生物質を身体が懸命に排除するから。

# ウソの理由

- 医学界 (WHO など) は、製薬会社・電気通信産業・軍部・化学産業等に完全に乗っ取られており、その都合のいい言説を流布している。
  - 細菌が病気を起こすことにして、ワクチンや薬で大儲け
  - 非感染性疾患 (がん、リウマチなど) の原因が全くわからないのに、「薬」を作って売りつける
  - 電磁波の危険性を一切言わず、電気通信産業を手助け
  - 消費者製品にある化学物質を、テストもせずに安全とする。石油化学産業の利益